

## 微生物が生ごみを食べ自動駆動で堆肥を作る「スマートコンポスト」の実証実験をブランチ横浜南部市場で行います。



横浜市は「I・TOP横浜」を通じた実証実験支援を行うことで、IoTやAIなどの先端技術を活用した生産性向上や社会課題の解決への貢献、新たなビジネスモデルの創出に取り組んでいます。

このたび、「I・TOP横浜」の取組として、株式会社komham（本社：北海道札幌市）が、生ごみの高速分解が得意な微生物群「コムハム」を活用し、ソーラー発電の電力で自動駆動し堆肥を作る「スマートコンポスト」をブランチ横浜南部市場（横浜市金沢区）に設置し、生ごみ処理量から温室効果ガス抑制データを解析する実証実験を行います。

同社の実証実験では初めてとなる商業施設における取組であり、ブランチ横浜南部市場における生ごみ発生量とそれに伴う処理量のニーズ検証も兼ねて実施されます。

将来的には、身近な環境に「スマートコンポスト」が設置されることにより、生ごみ排出量の削減と生ごみ処理における温室効果ガスの発生抑制につながれば、低炭素社会の実現に向けて大きな効果が期待できます。

### 1. 実証実験の概要

<p>内容</p>	<p>生ごみを高速分解／減容する能力を持つ微生物群「コムハム」が入った、ソーラー発電の電力で自動駆動するコンポスト※を設置し、生ゴミ投入量や投入実績から想定される温室効果ガス排出量を計測する実証実験</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>スマートコンポスト（正面）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>スマートコンポスト（背面）</p> </div> </div> <p>※微生物が生ごみを分解させて堆肥を作るといふごみ処理方法</p>
<p>実施場所</p>	<p>ブランチ横浜南部市場 パレット広場 所在地：横浜市金沢区鳥浜町1-1</p>
<p>実施期間</p>	<p>令和5年1月10日（火）～2月10日（金）（予定）</p>

## 2. スマートコンポストについて



スマートコンポスト（全景と内部）

投入量・温室効果ガス排出データ

- 生ごみの**高速分解が得意な微生物群**である「コムハム」が入った**ソーラー発電の電力で自動駆動する**コンポスト  
・サイズ：1,012(W)×1,468(H)×1,137(D) ・本体重量：200kg ・処理能力：最大 10 リットル/日
- 微生物群「コムハム」の作用により、一般的なコンポストでは生ごみの処理に数週間要するところ、**1～3日で処理が可能**
- 温室効果ガスの排出量は**生ごみ処理 1トンあたり 18kg**と、一般的なコンポストが排出する 161kg に比べて大幅に削減することが可能
- クラウドにアップロードされたデータから生ごみ投入量や**投入実績から想定される温室効果ガス排出量を取得可**

### ■ 株式会社 komham について (<https://komham.jp/>)

「あらゆる人が 持続可能な選択をしたくなる未来をつくる」をミッションに掲げ、生ごみを高速分解/減容する能力を持つ微生物群「コムハム」の研究と、その研究技術を用いたバイオマスリサイクルシステムを、食品ロスなどの生ごみ処理に困っている事業者へ提供しています。また、生ごみ処理技術提供にとどまらず、弊社技術を応用したサービスや商品の開発を行い、だれもが意識せずとも環境にやさしい暮らしができるインフラ作りを目指しています。

会社名：株式会社 komham

本店：札幌市厚別区下野幌テクノパーク 1 丁目 1-10-211 号

支店：東京都渋谷区猿樂町 17-10 代官山アートビレッジ 3 階 B 代官山 TOKO

代表者：代表取締役 西山すの

設立：2020 年 1 月

### お問合せ先

【I □ TOP 横浜に関すること】 経済局産業連携推進課担当課長 松本 圭市 Tel: 045-671-3591  
【スマートコンポストに関すること】 株式会社 komham 担当 木本 Email: hi@komham.jp

※ 本件は、横浜経済記者クラブにも同時発表しています。

別紙あり

## 【参考】

## 横浜南部市場について

昭和48年11月に開設した南部市場は、市場の再編・機能強化に伴い、中央卸売市場本場を補完する「物流エリア（市場）」と、民間事業者のノウハウを活用した「食」をコンセプトとする「賑わいエリア（商業施設）」に分けて再整備されました。

令和元年の複合商業施設「ランチ横浜南部市場」開業とともに、「横浜南部市場 食の専門店街（旧名称：食品関連卸売センター）」もリニューアルされ、『物流』と『にぎわい』を合わせ持つ、横浜南部市場に生まれ変わりました。

【主な施設】	「物流エリア」	青果棟、水産棟、花き棟など
	「賑わいエリア」	ランチ横浜南部市場、食の専門店街

## I・TOP横浜（IoT オープンイノベーション・パートナーズ）について

## 【I・TOP横浜（IoTオープンイノベーション・パートナーズ）とは】

横浜経済の強みである「ものづくり・IT産業の集積」を活かし、IoT等（IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等）を活用したビジネス創出に向けた、交流・連携、プロジェクト推進、人材育成等を包括的に進めていくプラットフォームです。これらの取組から個別プロジェクトを立ち上げ、「新たなビジネスモデル創出」、「中小企業のチャレンジ支援」、「社会課題解決への貢献」を目標としています。



**I・TOP横浜**  
IoT Open Innovation Partners YOKOHAMA

I・TOP横浜ウェブサイト  
<https://itop.yokohama/>